



# 西藤島小だより



☆学校教育目標 「やってみよう」の西藤島

～主体的に考え、多様性を認め合い、チャレンジを続ける児童の育成～

令和6年8月27日

☆めざす児童像「学ぶ子」「やさしい子」「強い子」

第19号

福井市三郎丸1丁目1410 TEL (0776)22-8820 FAX (0776)22-6809

URL <http://www.fukui-city.ed.jp/ni-fuji-e/> MAIL ni-fu-e@fukui-city.ed.jp

## 笑顔と元気な声に戻ってきました！

8月27日、38日間の夏休みを終えて、学校が再開しました。初日から最高気温が35度に迫る暑さの中での再開になりましたが、笑顔で元気に登校してくれたことを大変うれしく思います。子どもたちが、元気に学校での学習や活動を再開できますのも、長い夏休み期間、保護者の皆様・地域の皆様の支えがあったのことと思います。ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

夏休みの思い出について話をする子どもたち



月目標や体育大会関係の話し合いをする学級



## 学校再開にあたり（児童朝礼での校長の話を含めて）

この夏休み前に、私は、子どもたちがんばってほしいことを3つ伝えました。

- ① 元気でいてください。命を大切にしてください（これは絶対守ってください）。
- ② がんばっている人を見つけて応援してください。いいなと思うことをまねしてください。
- ③ 進んでやってみよう。（チャレンジの夏）

どうだったでしょうか。大変うれしいことに、大きな病気やけがをした子はいなかったようです。

私は、パリオリンピックの様子をたくさんテレビ等で見ましたが、その選手の活躍（思い通りの結果が出せた人もそうでなかった人も）からたくさん学ぶことがあったように思います。今回の児童朝礼（オンライン）でも、選手の言葉を子どもたちに紹介しました。その中でも「やりきった」「楽しかった」という言葉は、なんてすがすがしく、大舞台で力を出せる、楽しめるというのはなんてメンタルがしっかりしているんだろうと感心しました。また、「このメダルは自分だけの力でとれたものではない」「たくさんの方々の支えがあったから」と、周りの人に感謝する姿、謙虚な姿勢はなんて立派なんだろう、きっと平日頃からそう感じて励んできたからこそ、こういう言葉に表れるんだろうと、人間性の素晴らしさにも感動しました。

朝礼では話していませんでしたが、オリンピックだけでなく高校野球でも素晴らしい試合を見ました。特に早稲田実業と大社の試合。選手の一生懸命さに心を打たれました。そして、応援する人たちも気持ちを一つにしてパワーを送っている様子に、胸が熱くなりました。

がんばっている人たちを見て、自分も何かがんばらなくてはと思うこと。それはスポーツに限らずいろいろな場面でがんばっている人たち（にやかし祭りでがんばっていた人たち、家族のために仕事をがんばっているおうちの方々、家の仕事を毎日がんばっているおうちの方々、等）を、子どもたちは、特にこの夏休みにたくさん見たと思うのですが、がんばっている人たちを見て、よし自分も見習おう、自分もがんばろうという気持ちになること、心で感じ、行動に移していくことができる子、そんな子どもたちが増えてくるといいなと思っています。

今日から1学期後半のスタート。西藤島の学校教育目標「『やってみよう』の西藤島」、そして「し・あ・わ・せ」を合い言葉に、また子どもたちと一緒にがんばっていきましょうと思います。

### 「熱中症対応のお便り」の訂正箇所について

8月26日に連絡エクステンジに添付でお知らせしました「熱中症対応のお便り」ですが、次の箇所に誤りがありましたので、訂正させていただきます。よろしくお願いたします。

1の2段落目の「水痘」→「水筒」



初日の給食はカレー。冷凍みかんもおいしかったですね。